

I 平成27年鉱工業指数の動向

1 概況

平成27年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成22年の年平均を100.0とした比率でみると、

生産指数は100.7となり、対前年比で3.7%の低下となった。
 生産者出荷指数は90.7となり、対前年比で8.4%の低下となった。
 生産者製品在庫指数は96.2となり、対前年比で0.2%の上昇となった。

鉱工業指数の推移をみると、生産指数は平成24年以降3年ぶりに低下となった。出荷指数は平成24年から4年連続して低下となった。在庫指数は平成26年から2年連続して上昇となった。

生産指数は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの低下により、対前年比3.7%の低下となった。

出荷指数は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの低下により、対前年比8.4%の低下となった。

在庫指数は、プラスチック製品工業、鉱業、鉄鋼業などの上昇により、対前年比0.2%の上昇となった。

第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%)

平成22年=100.0

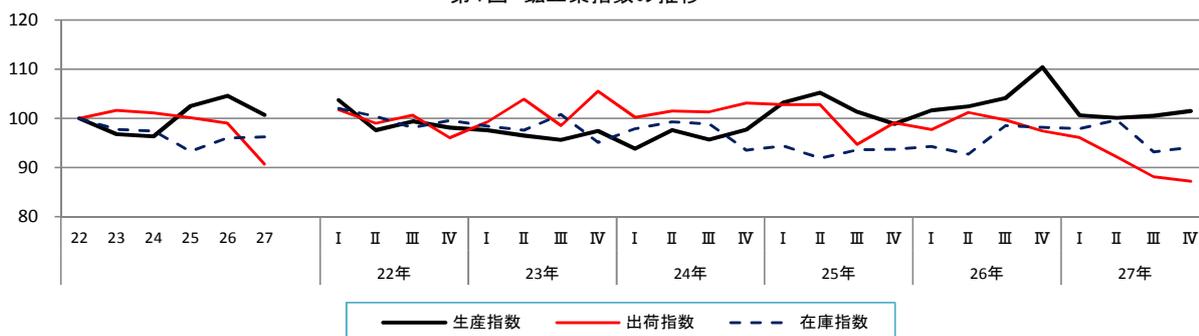
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
生産指数	100.0	96.8	96.3	102.5	104.6	100.7
前年比(%)	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5	6.4	2.0	▲ 3.7
出荷指数	100.0	101.6	101.1	100.1	99.0	90.7
前年比(%)	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 8.4
在庫指数	100.0	97.8	97.4	93.3	96.0	96.2
前年比(%)	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9	0.2

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%)

平成22年=100.0

	平成26年				平成27年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	101.6	102.4	104.1	110.4	100.6	100.1	100.5	101.5
前期比(%)	2.7	0.8	1.7	6.1	▲ 8.9	▲ 0.5	0.4	1.0
出荷指数	97.7	101.2	99.7	97.4	96.1	92.2	88.1	87.2
前期比(%)	▲ 1.4	3.6	▲ 1.5	▲ 2.3	▲ 1.3	▲ 4.1	▲ 4.4	▲ 1.0
在庫指数	94.3	92.7	98.5	98.2	97.9	99.7	93.2	94.1
前期比(%)	0.6	▲ 1.7	6.3	▲ 0.3	▲ 0.3	1.8	▲ 6.5	1.0

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準100.7、対前年比3.7%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの5業種であった。

上昇した業種は、プラスチック製品工業、その他の工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準100.6、対前期比8.9%減)

低下した業種は、その他の工業(対前期比41.3%減)などの6業種であった。

上昇した業種は、プラスチック製品工業(対前期比20.3%増)などの3業種であった。

II期(指数水準100.1、対前期比0.5%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比34.3%減)などの4業種であった。

上昇した業種は、金属製品工業(対前期比7.9%増)などの5業種であった。

III期(指数水準100.5、対前期比0.4%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比8.6%増)などの4業種であった。

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比21.4%減)などの5業種であった。

IV期(指数水準101.5、対前期比1.0%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比37.0%増)などの4業種であった。

低下した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比9.9%減)などの5業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					26年	27年				原指数		27年 季節調整済指数			
		25年	26年	27年	IV期	I期	II期	III期	IV期	26年	27年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	102.5	104.6	100.7	110.4	100.6	100.1	100.5	101.5	2.0	▲ 3.7	▲ 8.9	▲ 0.5	0.4	1.0
鉄鋼業	386.1	109.7	118.1	106.0	116.9	102.3	110.1	106.2	105.5	7.7	▲ 10.2	▲ 12.5	7.6	▲ 3.5	▲ 0.7
金属製品工業	1231.3	125.7	116.9	113.6	121.4	117.4	126.7	111.9	103.3	▲ 7.0	▲ 2.8	▲ 3.3	7.9	▲ 11.7	▲ 7.7
窯業・土石製品工業	1806.7	105.3	108.7	103.6	108.8	104.6	102.1	109.9	99.0	3.2	▲ 4.7	▲ 3.9	▲ 2.4	7.6	▲ 9.9
化学・石油製品工業	962.2	92.9	92.9	57.7	86.8	85.3	56.0	44.0	41.7	▲ 0.0	▲ 37.9	▲ 1.7	▲ 34.3	▲ 21.4	▲ 5.2
プラスチック製品工業	174.5	116.6	118.2	145.6	120.3	144.7	134.1	142.0	158.2	1.4	23.2	20.3	▲ 7.3	5.9	11.4
パルプ・紙・紙加工品工業	164.0	95.7	95.6	99.7	93.5	96.7	99.8	98.7	103.6	▲ 0.1	4.3	3.4	3.2	▲ 1.1	5.0
食料品工業	4255.3	91.0	90.1	89.7	92.0	87.1	90.3	90.3	92.6	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 5.3	3.7	▲ 0.0	2.5
その他の工業	849.0	127.0	154.3	163.5	242.8	142.6	141.4	153.6	210.4	21.5	6.0	▲ 41.3	▲ 0.8	8.6	37.0
鉱業	170.9	99.1	117.0	121.5	117.7	118.8	122.9	124.0	122.0	18.1	3.8	0.9	3.5	0.9	▲ 1.6
産業総合(参考)	12444.3	102.0	103.7	100.6	108.7	100.5	100.8	100.0	101.6	1.7	▲ 3.0	▲ 7.5	0.3	▲ 0.8	1.6

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準90.7、対前年比8.4%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの4業種であった。

上昇した業種は、プラスチック製品工業、その他の工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの5業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準96.1、対前期比1.3%減)

低下した業種は、その他の工業(対前期比41.2%減)などの3業種であった。

上昇した業種は、鉱業(対前期比11.3%増)などの6業種であった。

II 期(指数水準92.2、対前期比4.1%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比16.4%減)などの3業種であった。

上昇した業種は、鉄鋼業(対前期比19.1%増)などの6業種であった。

III 期(指数水準88.1、対前期比4.4%減)

低下した業種は、鉱業(対前期比16.5%減)などの6業種であった。

上昇した業種は、その他の工業(対前期比7.5%増)などの3業種であった。

IV 期(指数水準87.2、対前期比1.0%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比9.7%減)などの3業種であった。

上昇した業種は、その他の工業(対前期比36.7%増)などの6業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					26年		27年			原指数		27年 季節調整済指数			
		25年	26年	27年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	26年	27年	I 期	II 期	III 期	IV 期
鉱工業	10000.0	100.1	99.0	90.7	97.4	96.1	92.2	88.1	87.2	▲ 1.1	▲ 8.4	▲ 1.3	▲ 4.1	▲ 4.4	▲ 1.0
鉄鋼業	347.1	109.6	116.8	107.0	113.2	99.4	118.4	104.9	107.4	6.6	▲ 8.4	▲ 12.2	19.1	▲ 11.4	2.4
金属製品工業	764.3	129.3	120.1	117.1	123.9	120.0	128.5	116.5	107.9	▲ 7.1	▲ 2.5	▲ 3.1	7.1	▲ 9.3	▲ 7.4
窯業・土石製品工業	1171.7	104.2	109.2	106.3	108.4	108.9	106.3	110.1	101.2	4.8	▲ 2.7	0.5	▲ 2.4	3.6	▲ 8.1
化学・石油製品工業	3350.2	96.6	88.8	64.0	76.9	79.8	66.7	57.6	52.0	▲ 8.1	▲ 27.9	3.8	▲ 16.4	▲ 13.6	▲ 9.7
プラスチック製品工業	114.8	115.1	116.1	136.3	125.4	136.1	138.2	131.9	138.7	0.9	17.4	8.5	1.5	▲ 4.6	5.2
パルプ・紙・紙加工品工業	111.3	97.6	97.1	102.2	96.6	98.9	103.0	100.1	105.7	▲ 0.5	5.3	2.4	4.1	▲ 2.8	5.6
食料品工業	3617.1	91.6	91.4	92.3	90.0	93.4	91.7	91.9	92.9	▲ 0.2	1.0	3.8	▲ 1.8	0.2	1.1
その他の工業	442.8	127.4	155.1	163.6	241.8	142.1	142.7	153.4	209.7	21.7	5.5	▲ 41.2	0.4	7.5	36.7
鉱業	80.7	88.7	104.6	104.9	93.4	104.0	116.0	96.9	103.2	17.9	0.3	11.3	11.5	▲ 16.5	6.5
産業総合(参考)	12830.6	100.2	99.3	93.2	98.6	97.2	94.5	91.7	90.5	▲ 0.9	▲ 6.1	▲ 1.4	▲ 2.8	▲ 3.0	▲ 1.3

注1) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2) 産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準96.2、対前年比0.2%増)

上昇した業種は、プラスチック製品工業、鋁業、鉄鋼業などの4業種であった。

低下した業種は、窯業・土石製品工業、その他の工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの5業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準97.9、対前期比0.3%減)

低下した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業(対前期比16.3%減)などの3業種であった。

上昇した業種は、金属製品工業(対前期比59.3%増)などの6業種であった。

II期(指数水準99.7、対前期比1.8%増)

上昇した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業(対前期比11.5%増)などの3業種であった。

低下した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比5.9%減)などの6業種であった。

III期(指数水準93.2、対前期比6.5%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比19.0%減)などの5業種であった。

上昇した業種は、鋁業(対前期比6.9%増)などの4業種であった。

IV期(指数水準94.1、対前期比1.0%増)

上昇した業種は、化学・石油製品工業(対前期比10.2%増)などの3業種であった。

低下した業種は、金属製品工業(対前期比20.3%減)などの6業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					26年	27年				原指数		27年 季節調整済指数			
		25年	26年	27年	IV期	I期	II期	III期	IV期	26年	27年	I期	II期	III期	IV期
鋁工業	10000.0	93.3	96.0	96.2	98.2	97.9	99.7	93.2	94.1	2.9	0.2	▲ 0.3	1.8	▲ 6.5	1.0
鉄鋼業	569.9	107.4	109.8	119.1	117.7	120.7	118.3	121.8	115.7	2.2	8.5	2.5	▲ 2.0	3.0	▲ 5.0
金属製品工業	565.4	72.6	7.7	7.7	5.9	9.4	8.9	7.4	5.9	▲ 89.4	0.0	59.3	▲ 5.3	▲ 16.9	▲ 20.3
窯業・土石製品工業	1220.0	100.7	109.9	102.1	113.1	107.4	101.1	100.7	99.0	9.1	▲ 7.1	▲ 5.0	▲ 5.9	▲ 0.4	▲ 1.7
化学・石油製品工業	3196.5	83.9	99.5	97.9	105.1	99.0	107.9	87.4	96.3	18.6	▲ 1.6	▲ 5.8	9.0	▲ 19.0	10.2
プラスチック製品工業	131.8	113.8	139.2	175.0	158.1	177.3	170.3	170.7	181.9	22.3	25.7	12.1	▲ 3.9	0.2	6.6
パルプ・紙・紙加工品工業	92.3	93.7	97.6	93.5	107.6	90.1	100.5	93.1	89.7	4.2	▲ 4.2	▲ 16.3	11.5	▲ 7.4	▲ 3.7
食料品工業	3471.7	97.6	96.3	95.9	95.5	97.1	94.8	96.1	95.8	▲ 1.3	▲ 0.4	1.7	▲ 2.4	1.4	▲ 0.3
その他の工業	249.7	109.8	103.1	97.7	95.5	99.7	97.3	97.2	96.5	▲ 6.1	▲ 5.2	4.4	▲ 2.4	▲ 0.1	▲ 0.7
鋁業	502.7	100.1	106.6	125.0	111.8	118.8	119.6	127.9	133.8	6.5	17.3	6.3	0.7	6.9	4.6
産業総合(参考)	10000.0	93.3	96.0	96.2	98.2	97.9	99.7	93.2	94.1	2.9	0.2	▲ 0.3	1.8	▲ 6.5	1.0

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鋁工業と電力・ガス事業を統合したものの。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

生産指数(指数水準106.0、対前年比10.2%減)

生産が低下した品目は、小形棒鋼、線材・バーインコイル、鉄蓋などであった。

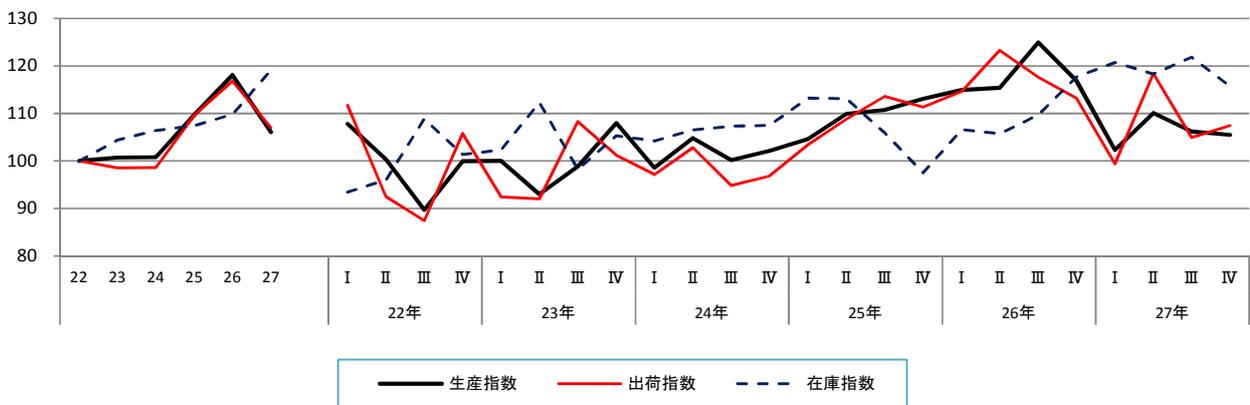
出荷指数(指数水準107.0、対前年比8.4%減)

出荷が低下した品目は、小形棒鋼、鉄蓋、線材・バーインコイルなどであった。

在庫指数(指数水準119.1、対前年比8.5%増)

在庫が上昇した品目は、鉄蓋、小形棒鋼、めっき鋼管であった。

第2図 鉄鋼業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



(2) 金属製品工業

生産指数(指数水準113.6、対前年比2.8%減)

生産が低下した品目は、橋りょう、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄くぎであった。

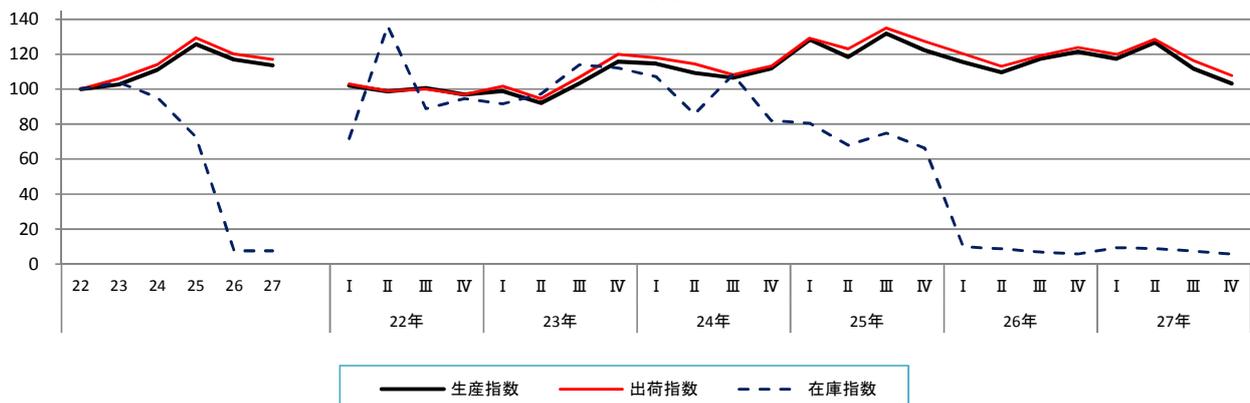
出荷指数(指数水準117.1、対前年比2.5%減)

出荷が低下した品目は、橋りょう、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄くぎなどであった。

在庫指数(指数水準7.7、対前年比0.0%増)

在庫が増加した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、金網であった。

第3図 金属製品工業



(3) 窯業・土石製品工業

生産指数(指数水準103.6、対前年比4.7%減)

生産が低下した品目は、道路用コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、生コンクリートなどであった。

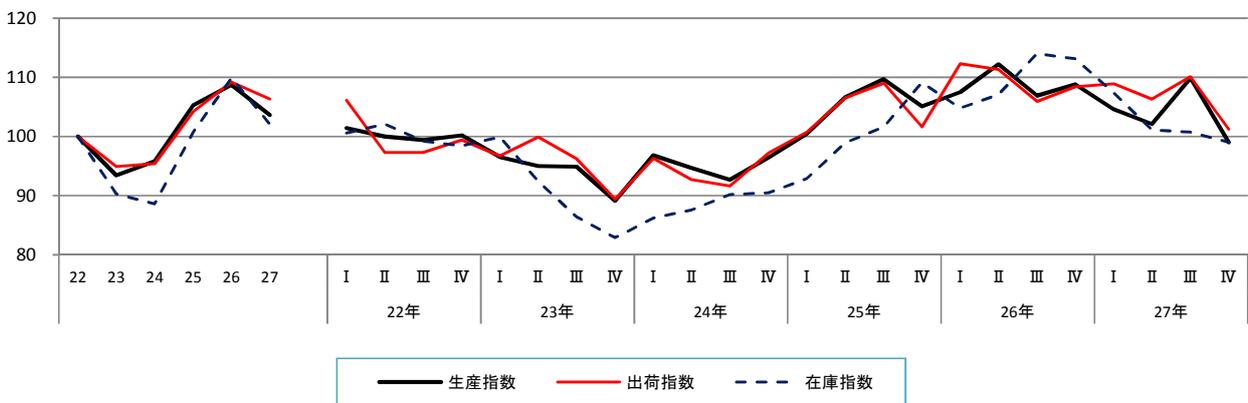
出荷指数(指数水準106.3、対前年比2.7%減)

出荷が低下した品目は、道路用コンクリート製品、生コンクリート、遠心力鉄筋コンクリートパイプなどであった。

在庫指数(指数水準102.1、対前年比7.1%減)

在庫が低下した品目は、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、道路用コンクリート製品、その他のプレストレストコンクリート製品などであった。

第4図 窯業・土石製品工業



(4) 化学・石油製品工業

生産指数(指数水準57.7、対前年比37.9%減)

生産が低下した品目は、ガソリン、C重油、軽油などであった。

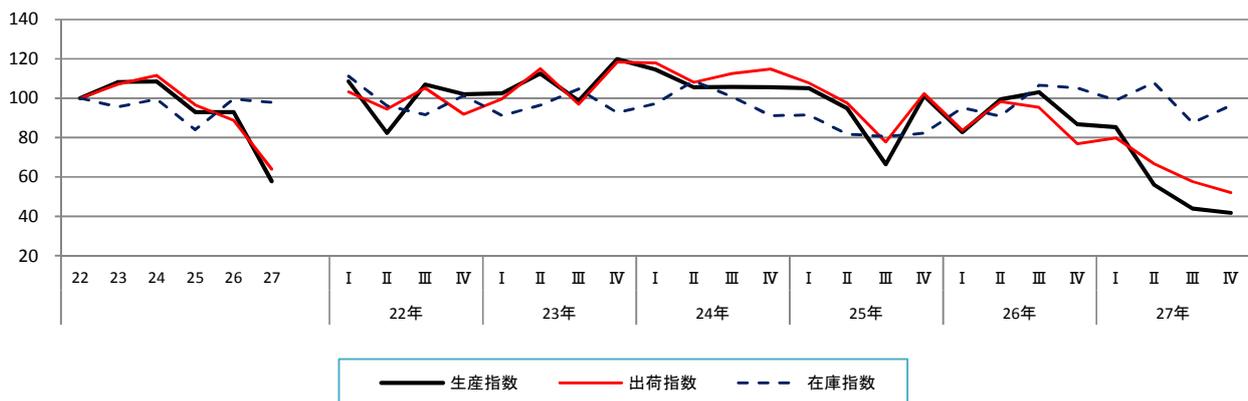
出荷指数(指数水準64.0、対前年比27.9%減)

出荷が低下した品目は、軽油、C重油、ガソリンなどであった。

在庫指数(指数水準97.9、対前年比1.6%減)

在庫が低下した品目は、C重油、軽油、ジェット燃料油などであった。

第5図 化学・石油製品工業



(5) プラスチック製品工業

生産指数(指数水準145.6、対前年比23.2%増)

生産が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）、発泡プラスチック製品であった。

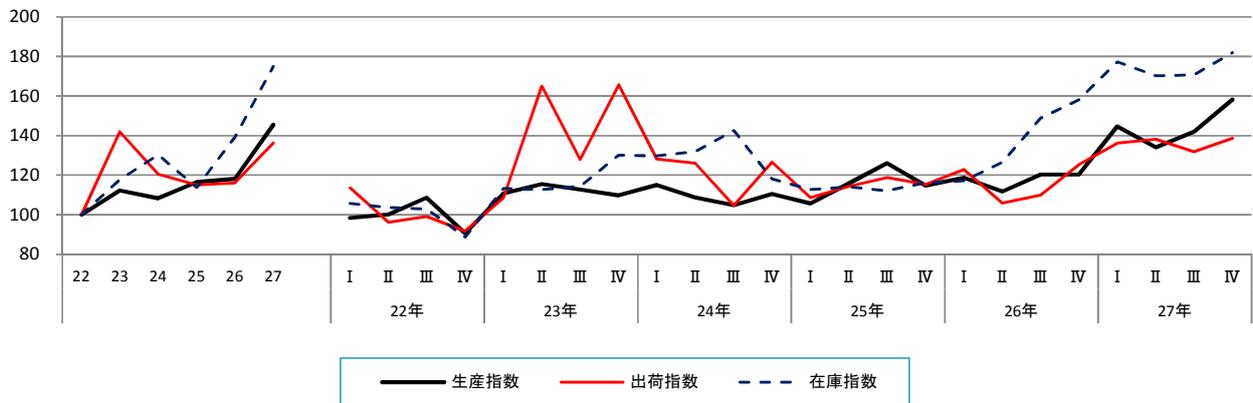
出荷指数(指数水準136.3、対前年比17.4%増)

出荷が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）、発泡プラスチック製品であった。

在庫指数(指数水準175.0、対前年比25.7%増)

在庫が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、発泡プラスチック製品、プラスチック製容器（中空成形）であった。

第6図 プラスチック製品工業



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(指数水準99.7、対前年比4.3%増)

生産が上昇した品目は、段ボール、トイレットペーパー、タオル用紙であった。

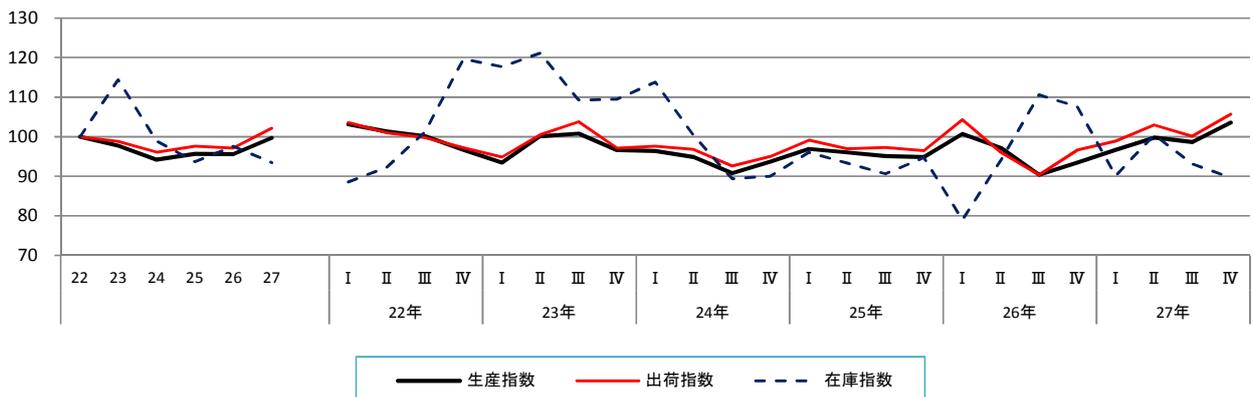
出荷指数(指数水準102.2、対前年比5.3%増)

出荷が上昇した品目は、段ボール、トイレットペーパー、タオル用紙であった。

在庫指数(指数水準93.5、対前年比4.2%減)

在庫が低下した品目は、トイレットペーパー、段ボール、ちり紙であった。

第7図 パルプ・紙・紙加工品工業



(7) 食料品工業

生産指数(指数水準89.7、対前年比0.4%減)

生産が低下した品目は、あわもり、分蜜糖、清涼飲料・嗜好飲料などであった。

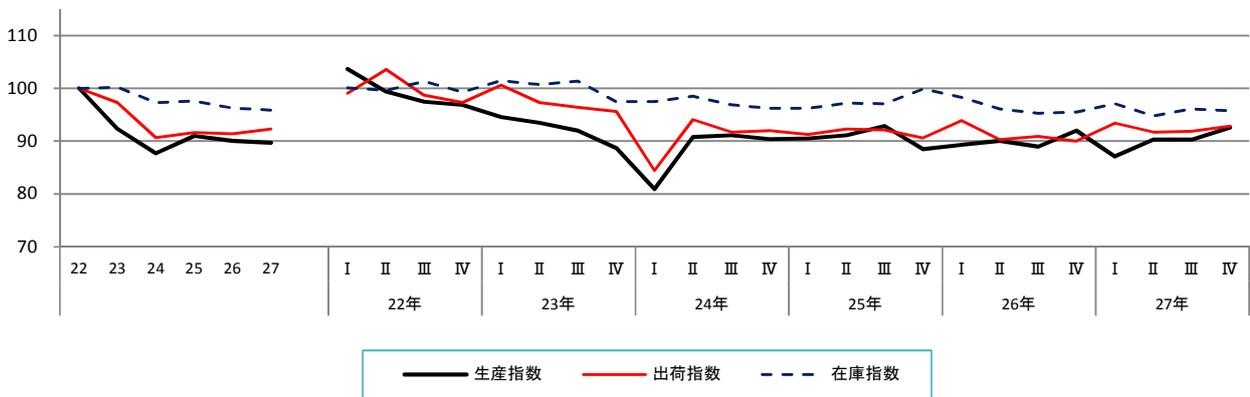
出荷指数(指数水準92.3、対前年比1.0%増)

出荷が上昇した品目は、精米、ビール、分蜜糖などであった。

在庫指数(指数水準95.9、対前年比0.4%減)

在庫が低下した品目は、清涼飲料・嗜好飲料、発泡酒、プロイラーなどであった。

第8図 食料品工業



(8) その他の工業

生産指数(指数水準163.5、対前年比6.0%増)

生産が上昇した品目は、平板印刷（オフセット印刷）、綿織物であった。

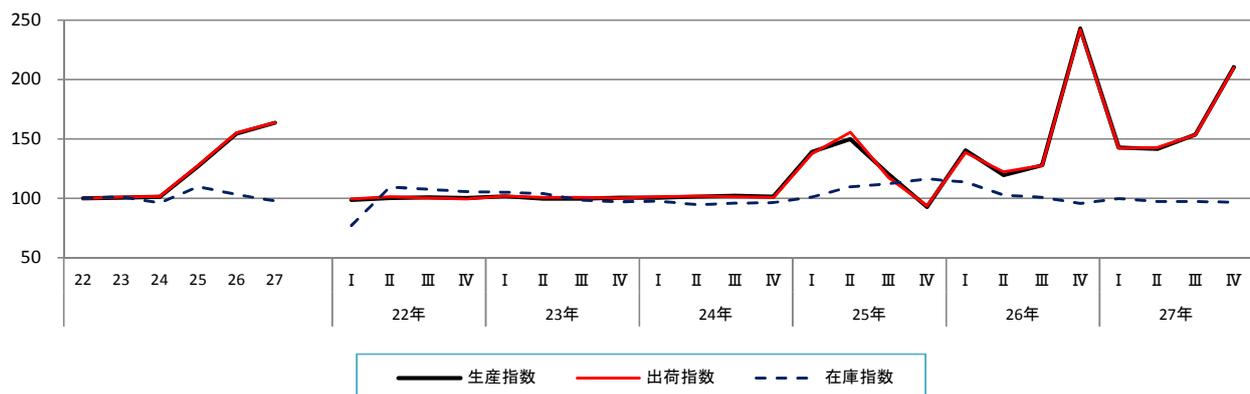
出荷指数(指数水準163.6、対前年比5.5%増)

出荷が上昇した品目は、平板印刷（オフセット印刷）、綿織物であった。

在庫指数(指数水準97.7、対前年比5.2%減)

在庫が低下した品目は、アルミ圧延製品、綿織物であった。

第9図 その他の工業



(9) 鉱業

生産指数(指数水準121.5、対前年比3.8%増)

生産が上昇した品目は、石灰石であった。

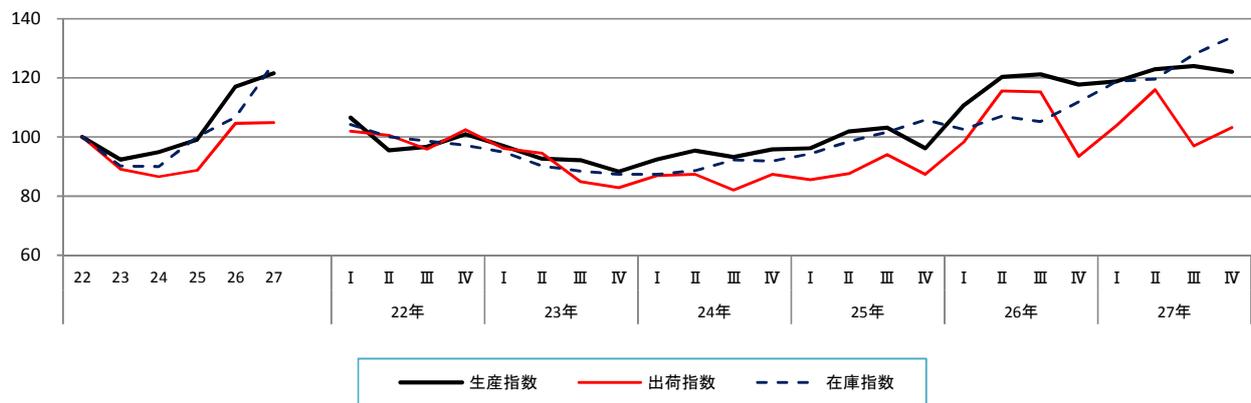
出荷指数(指数水準104.9、対前年比0.3%増)

出荷が上昇した品目は、石灰石であった。

在庫指数(指数水準125.0、対前年比17.3%増)

在庫が上昇した品目は、石灰石であった。

第10図 鉱業



3 財別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は99.5となり、対前年比で3.6%の低下となった。
生産財は103.4となり、対前年比で4.2%の低下となった。

最終需要財の投資財は108.4(対前年比4.7%減)、消費財は91.6(対前年比2.3%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は83.0(対前年比4.0%減)、その他用生産財は124.6(対前年比4.4%減)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は99.3となり、対前年比で3.1%の低下となった。
生産財は77.6となり、対前年比で16.9%の低下となった。

最終需要財の投資財は111.0(対前年比3.4%減)、消費財は92.5(対前年比2.9%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は76.5(対前年比9.9%減)、その他用生産財は78.1(対前年比19.9%減)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は98.2となり、対前年比で10.0%の上昇となった。
生産財は92.0となり、対前年比で16.2%の低下となった。

最終需要財の投資財は84.0(対前年比1.4%減)、消費財は105.8(対前年比15.6%増)となった。
生産財の鉱工業用生産財は101.7(対前年比16.8%減)、その他用生産財は87.3(対前年比15.9%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成22年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)						対前年増減率(%)					
		22年	23年	24年	25年	26年	27年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
鉱工業	10000.0	100.0	96.8	96.3	102.5	104.6	100.7	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.5	6.4	2.0	▲ 3.7
最終需要財	7075.0	100.0	97.2	98.8	104.0	103.2	99.5	▲ 2.2	▲ 2.8	1.6	5.3	▲ 0.8	▲ 3.6
投資財	3336.4	100.0	97.9	102.3	114.1	113.7	108.4	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5	11.5	▲ 0.4	▲ 4.7
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3336.4	100.0	97.9	102.3	114.1	113.7	108.4	▲ 4.2	▲ 2.1	4.5	11.5	▲ 0.4	▲ 4.7
消費財	3738.6	100.0	96.5	95.6	95.0	93.8	91.6	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 2.3
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3738.6	100.0	96.5	95.6	95.0	93.8	91.6	▲ 0.3	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 2.3
生産財	2925.0	100.0	95.8	90.3	98.7	107.9	103.4	▲ 2.0	▲ 4.2	▲ 5.7	9.3	9.3	▲ 4.2
鉱工業用生産財	1492.7	100.0	87.9	75.4	83.6	86.5	83.0	▲ 3.8	▲ 12.1	▲ 14.2	10.9	3.5	▲ 4.0
その他用生産財	1432.3	100.0	104.2	105.8	114.5	130.3	124.6	▲ 0.1	4.2	1.5	8.2	13.8	▲ 4.4

第7表 財別出荷指数

平成22年=100.0

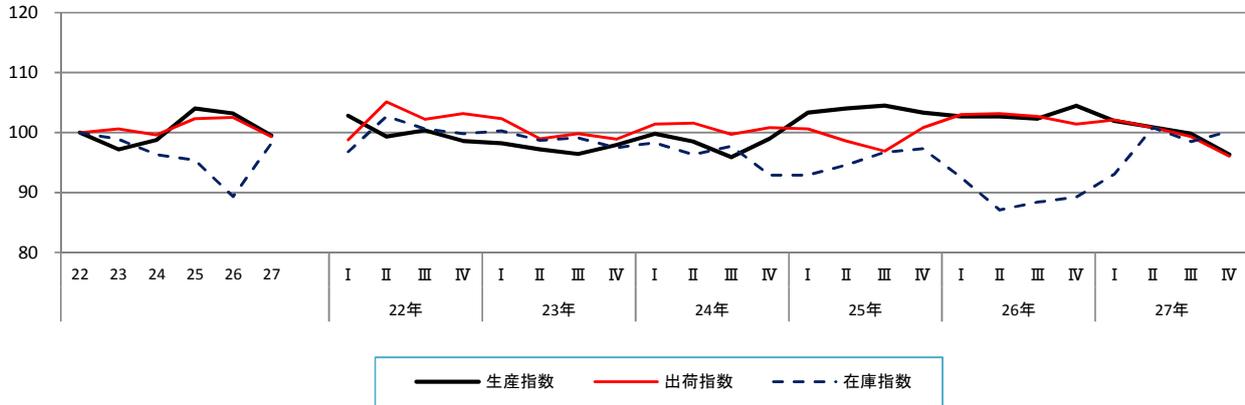
	ウェイト	出荷指数(原指数)						対前年増減率(%)					
		22年	23年	24年	25年	26年	27年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
鉱工業	10000.0	100.0	101.6	101.1	100.1	99.0	90.7	▲ 2.2	1.6	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 8.4
最終需要財	6042.7	100.0	100.6	99.6	102.3	102.5	99.3	▲ 2.0	0.6	▲ 1.0	2.7	0.2	▲ 3.1
投資財	2236.2	100.0	99.9	102.9	114.6	114.9	111.0	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0	11.4	0.3	▲ 3.4
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2236.2	100.0	99.9	102.9	114.6	114.9	111.0	▲ 4.0	▲ 0.1	3.0	11.4	0.3	▲ 3.4
消費財	3806.5	100.0	101.1	97.6	95.1	95.3	92.5	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2	▲ 2.9
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3806.5	100.0	101.1	97.6	95.1	95.3	92.5	▲ 0.8	1.1	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2	▲ 2.9
生産財	3957.3	100.0	103.1	103.4	96.8	93.4	77.6	▲ 2.3	3.1	0.3	▲ 6.4	▲ 3.5	▲ 16.9
鉱工業用生産財	1264.6	100.0	99.3	89.4	85.7	84.9	76.5	▲ 7.7	▲ 0.7	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 0.9	▲ 9.9
その他用生産財	2692.7	100.0	105.0	110.0	102.0	97.5	78.1	0.5	5.0	4.8	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 19.9

第8表 財別在庫指数

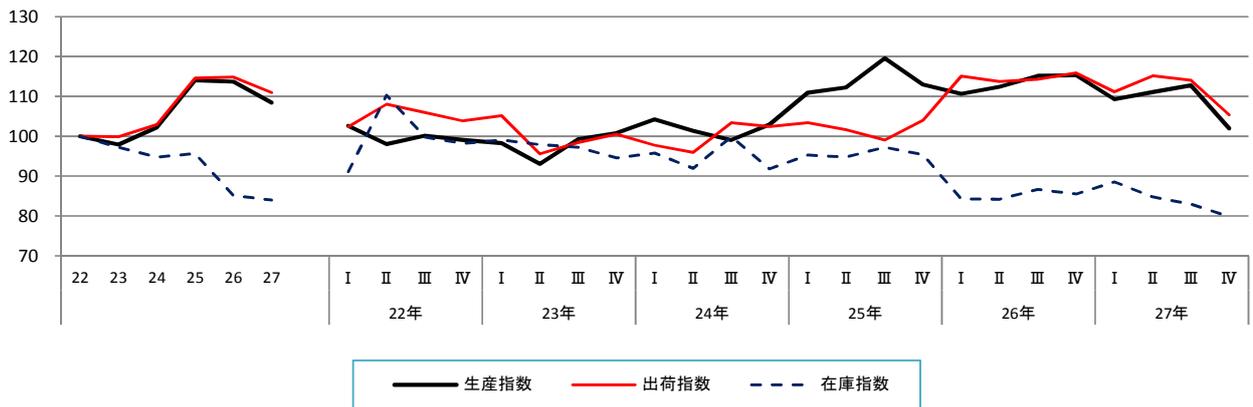
平成22年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)						対前年増減率(%)					
		22年	23年	24年	25年	26年	27年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
鉱工業	10000.0	100.0	97.8	97.4	93.3	96.0	96.2	2.8	▲ 2.2	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9	0.2
最終需要財	6740.5	100.0	98.9	96.3	95.4	89.3	98.2	4.5	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 0.9	▲ 6.4	10.0
投資財	2340.3	100.0	97.3	94.8	95.7	85.2	84.0	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0	▲ 1.4
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2340.3	100.0	97.3	94.8	95.7	85.2	84.0	3.0	▲ 2.7	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0	▲ 1.4
消費財	4400.2	100.0	99.7	97.1	95.2	91.5	105.8	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9	15.6
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	4400.2	100.0	99.7	97.1	95.2	91.5	105.8	5.3	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9	15.6
生産財	3259.5	100.0	95.6	99.7	89.2	109.8	92.0	▲ 0.5	▲ 4.4	4.3	▲ 10.5	23.1	▲ 16.2
鉱工業用生産財	1062.1	100.0	99.1	98.9	99.7	122.2	101.7	▲ 8.1	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	22.6	▲ 16.8
その他用生産財	2197.4	100.0	94.0	100.0	84.0	103.8	87.3	3.6	▲ 6.0	6.4	▲ 16.0	23.6	▲ 15.9

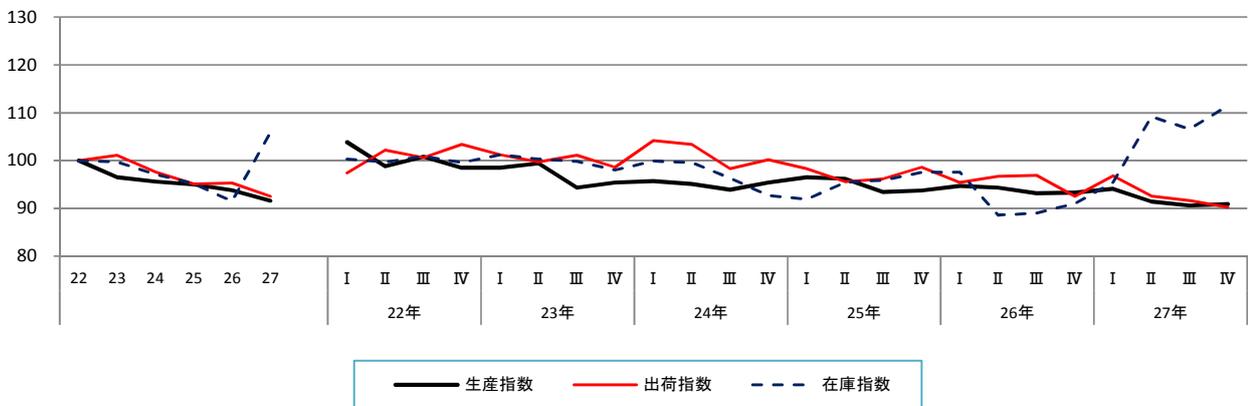
第11図 最終需要財



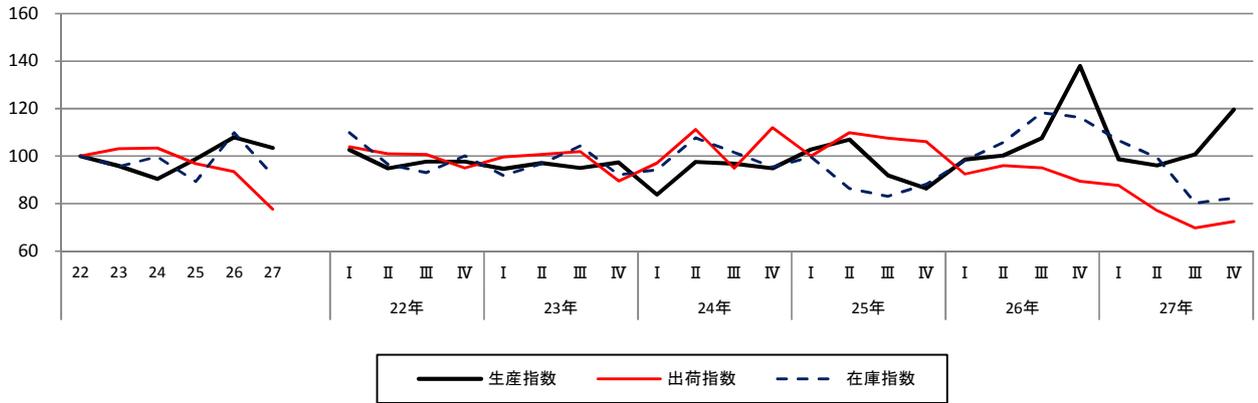
第12図 建設財



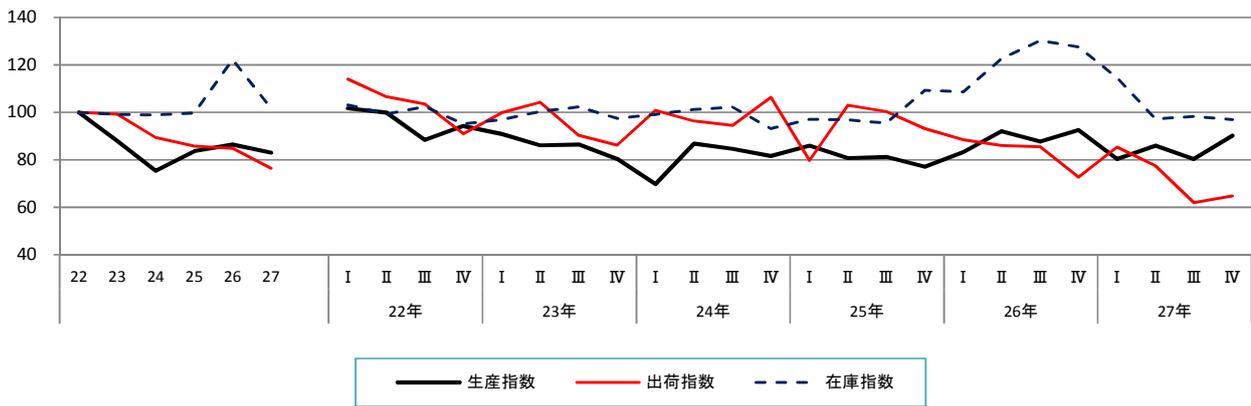
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

